

要ヶ丘



発行

海士町立海士中学校

住所 海士町大字海士九四四番地
TEL 08514(2)0744

隠岐郡体育大会

六月八・九日(金・土)、平成三十年度隠岐郡体育大会が開催され、各会場にて熱戦が繰りひろげられました。そしてチーム一丸となって、マナー面や応援に取り組むことができました。ご声援くださった、地域の皆様、保護者の皆様、誠にありがとうございました。

【教員】

【男子ソフトテニス部】

今回の郡総体は、ぼくにとつて最後の大会でしたが、県大会出場の権利は獲得できず、今大会で引退となりました。キャプテンとしてチームを引っ張ってききましたが、この大会に向けて、そして大会中も下級生の指導がうまくできずキャプテンとしての自覚が足りてなかつたと感じました。また、選手としては、最近になってプレーのバリエーションが少しずつ増えてきていたのですが、県大会出場の権利を獲得できず本当に悔しいです。この二年間で学んだことを無駄にしないようにこれから過去としていきたいと思います。応援ありがとうございました。

【生徒】

【女子ソフトテニス部】

女子ソフトテニス部は、県総体出場を目標に一人一人が一球一球大切に打つことを意識して頑張ってきました。結果は、残念ながら県総体出場の権利を得ることができず、三年生は引退となりました。しかし、一、二年生は次の大会もあります。今回、負けたからと言って諦めず、これからも頑張りたいと思います。これからは三年生がいなくなるので、二年生が一年生を引っ張って欲しいと思うし、一年生は周りもしっかり見て行動を早くし、二年生についていって欲しいと思います。一、二年生の仲をもっと深め、より良い雰囲気の中で一生懸命練習に取り組んでいって欲しいと思います。今回の郡総体は本当に良い大会となりました。応援ありがとうございました。

【生徒】

【男子バレー部】

僕たち男子バレー部は、郡総体優勝を目標に練習を頑張ってきました。結果は西郷南中学校を相手に一セット目は先取しましたが、その後のセットを奪い返されて負けてしまいました。しかし初めて一セットを取ることができて、一生懸命練習して来て本当に良かったと感じました。この大会では、全員で声を掛け合ったり、最後までボールを追いかけたりと本当に良い試合ができました。これで三年生は引退するのですが、二年生はこの先まだまだ大会があるので、次こそは勝てるように頑張りたいと思います。次の新人戦や来年の郡総体でいい結果が出ることを期待しています。応援ありがとうございました。

【生徒】

【女子バレー部】

私たち女子バレー部は、郡総体優勝を目標に練習に取り組んできました。結果は優勝できず、県大会出場の権利も獲得することができませんでした。今回の大会は、会場が海士中学校ということもあり、より緊張やプレッシャーを感じていた中でのプレーでしたが、自分たちの力を発揮できたと思います。3年生は最後の大会として、一杯プレーできたので悔いはありません。一、二年生はまだまだこれからの大会は続いていくので頑張りたいと思います。応援ありがとうございました。

【生徒】

「保」高連携

「健康生活チャレンジシート」の取組

五月二十八日～六月一日に、今年度一回目の「健康生活チャレンジシート週間」を実施しました。子どもたちは一週間、自分自身の目標を意識し生活習慣を見直すことができました。ぜひ生活習慣を見直すことができましたのではないのでしょうか。「自分の決めた時間を守ること」「限られた時間を大切に使うこと」が小学校と中学校の共通のテーマであったように感じます。チャレンジシートの主な項目は以下のとおりです。

- ・起床・就寝時間
- ・勉強時間
- ・メディア接触時間
- ・朝食・歯みがき・友だち関係(小学校のみ)

一学期の各校の取組の結果です。

		起床時刻	朝食	友だち	勉強読書	メディア	歯みがき	就寝時刻
低学年	福井小	88.3	100	100	100	93.4	89.3	93.4
	海士小	88.4	100	100	91.6	95.8	95.8	96.8
中学年	福井小	94.3	97.1	94.3	88.6	88.6	92.9	82.9
	海士小	98.3	100	95.0	93.3	90	98.3	85
高学年	福井小	84.3	98.9	100	80	73.3	94.4	74.4
	海士小	96.9	100	100	89.2	96.9	98.5	89.2
1年	海士中	76.9			84.6	76.9		84.6
	海士中	73.3			86.6	60		66.6
	海士中	77.7			55.5	66		77.7

☆小学生・・・「よくできた」という人の割合(%)
☆中学生・・・自分で設定した目標の達成率(%)

「親子でいつも以上に時計を気にしたよね」「メディア時間三十分は親もきつかった…」など保護者さんからの意見があり、親子で取り組む様子も伝わりました。子どもたち自身が努力し生活するだけでなく、家族みんなで普段の生活を振り返ったり、家族で過ごし会話する時間が増えたりすることも願いながら、この取組を続けていきたいと思ひます。今後ともご理解とご協力をお願いします。

【教員】

二年生修学旅行延期について

この度の関西での震災により、修学旅行は七月二十五日〜七月二十八日の日程に延期することになりました。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

海士町PRプレ発表

私たちは、六月六日に修学旅行プレ発表をしました。プレ発表では少し緊張しましたが、本番に近い形で発表できたのでとても良かったです。プレ発表を通して自分たちの課題を再認識することができました。

また、修学旅行は、地震で延期になつてしまいましたが、二年生は気持ち切り替え、期末テストに向かっていると思ひます。延期をプラスに捉え、楽しみがあつて一ヶ月伸びたと思ひます。修学旅行は夏休み中になつたので、暑くて人も多いと思ひますが、安全に気をつけて楽しんで来たいと思ひます。PRも頑張つてきます。

【生徒】

三年生ジオパーク学習

三年生のジオパーク学習は海士・西ノ島・知夫・島後の四島に行き、各島の特徴を実際に見て、比べるというところを行っています。五月三十一日には島後に遠足もかねて学習に行きました。十二月に行われる総合発表会に向けてしっかりと学習し、良い発表になるように頑張りたいと思ひます。

【教員】

今回のジオパーク学習では、普段の生活では知ることのできないたくさんのことを学び、経験することができました。その中でも、私が特に印象に残っていることは玉若酢命神社にある「八百杉」です。最初はすごく大きな木だなと感じましたが、樹齢が二千年と聞いてとても驚きました。そして、根を傷めないように、地面からかかる圧力を分散させているのにもとても驚きました。隠岐の島にはたくさんいい所があるので、もっともっといろいろな人に知ってもらいたいと思ひました。

【生徒】

未来へ向けて

三年生はキャリア教育の一環として、六月に学習センターの豊田さんを招いての学活や、西ノ島での高等学校説明会に参加しています。どちらの学習も生徒たちは真剣に話を聞き、今後の進路について考えました。

今回の豊田さんの話を聞いて、私自身、自然に考えていたこともあれば、全く考えたことがないようなこともあつたなと感じました。私は、なかなか自分から積極的に動くことができないので、その部分を少しずつ変えたいと思ひます。高校生になったら一人だけで考えず、大人の人たちと積極的に関わられるように、今から意識していきたいです。

【生徒】

高校説明会があり、僕は隠岐水産高校と自衛隊、そして松江工業高校の説明を聞きました。水産高校は将来、漁師になるためにはとても良いところだと思ひました。自衛隊は僕一人で説明を受けたのですが、とても丁寧な説明を受けたので、興味もわき、参加してよかったです。松江工業は、僕の興味のあるものがたくさんあり、特にゲームが好きなので僕には向いているのかなと思ひました。今回の高校説明会は将来のことを考えるうえで大変参考になりました。

【生徒】

今回の高校説明会では、いろいろな高校について詳しく知ることができました。今までは、特定の限られた高校についてしか知らなかったけど、今回の高校説明会では私の知らなかった様々な高校の特色について知ることができて、進路選択の幅が大きく広がった気がします。進路を考えるうえで、大変いい機会になりました。

【生徒】

一年生遠足

五月三十一日(木)に一年生で遠足に行きました。明屋海岸まで片道約七・五キロの道のりを歩きました。現地では、薪を燃やし、カレーライス作り挑戦しました。羽釜でご飯を炊き、大自然の下でカレーを食べました。とてもおいしいカレーができました。仲を深めることができたので、今後の学校生活で

も「協力すること」の大切さを忘れず過ごしてほしいと思ひます。

【教員】

「仲を深める」というテーマで遠足に行きました。行きや帰りは、先生や友達とたくさん話をしました。特に、友達とたくさん笑いあって仲が深まった気がしました。明屋海岸に着いた後は、グループに分かれて、カレー作りをしました。とてもおいしかったです。ここでも、作ったり、片付けなどをしたりして、グループの中でも仲が深まったと感じました。他にもみんな楽しんで楽しかったです。

【生徒】

隠岐なかよし運動会

六月二日(土) 隠岐の島町、隠岐養護学校で行われた第四十七回隠岐なかよし大運動会に、本校一年B組の竹谷瑠香さんと参加しました。当日は天候も良く非常に暑い中での活動でしたが、他校の特別支援学級児童生徒と共に、汗を流し、応援し、協力し合いながら交流を深めることができました。瑠香さん自身も、友達をたくさん作り、楽しんで活動することができました。左記に生徒の感想を紹介いたします。

【教員】

運動会では、楽しくおどったり頑張つて走ったりしました。休み時間では、さわちゃんがたくさんお話ししました。さえさんにもたくさん声をかけて話しをいっぱいしました。白組の人は強かったけど、赤組の人も良く頑張

ったなあと思ひました。バスが来る前に西郷のみんなと買い物に行きました。帰る時にはお見送りに来てくれてうれしかったです。

【生徒】

みんな特別

〜特別支援教育について〜

「人はみんなそれぞれ違っている」これは当たり前のことです。例えば、漢字を覚えるとき、たくさん書いて覚える。3回ずつ書いて覚える。1回、大きくしっかりと書いて覚える。などそれぞれ自分に合った覚え方があると思ひます。また、音楽を聴きながらの方が集中できる。という人と、「いや、静かじゃないと勉強できない」という人もいます。このように、勉強の仕方、勉強しやすい環境も人それぞれが違っています。

特別支援教育では、子どもが自分に合う学び方、学びの場を自分で選択することができず、通常学級「サポーター」や「インター」通級指導教室、特別支援学級「特別支援学校」など多くの学びの場が選択できます。自分に合った学びの場、勉強したり、人と上手に関わることに苦手であればそれを学んだりします。そして、自分の得意なことを伸ばし、私は〇〇はできないけど、ここまではできます。また、…すれば、できるようになる。など、社会に出てから困らないように自分自身についても勉強していきます。

そう考えると、どんな子供にとっても特別な支援は必要なことです。みんなが特別な存在であるし、学校という学びの場は、一人一人を大切にすることができると思ひます。特別支援教育を進めていきたいと思ひます。

【教員】